

授業科目名	経済データ解析 (a ・ b)	学 年	2 年	単位数	2	開設期	前・後期
担当教員	河田 正樹	指 定	選択	備 考			

授業のねらい・概要

世の中には数多くの経済データが存在します。経済データは現実の経済状況を把握したり、経済理論と現実との整合性を検証したりするために用いられますが、その際には、そのままのデータより何らかの統計的分析をおこなった結果のほうが、結論を導くために有効です。

この講義では現実の経済状況を把握したり、経済理論と現実経済との整合性を検証するための統計的手法を、Excel を用いて実際に分析することによって学びます。

学習の到達目標

講義科目『統計学』『経済統計』などで学んだトピックを Excel で実際に分析し、理解を深めます。経済分析で頻繁に用いられる回帰分析の手法を Excel をもちいて学び、初歩的な実証分析をおこないます。

授業全体のすすめ方・指示事項

コンピュータ教室における実習ですので、履修人数の制限をおこないます。希望者多数の場合は抽選となります。Excel の基本的な使い方(コピーのしかた、グラフの描き方など)を既に習得した学生を対象とします。講義科目『統計学』『経済統計』などで学んだトピックについての実習ですが、これらの科目が履修済みかどうかは前提条件ではありません。未履修者を想定し、理論的な側面についての簡単な説明をおこないます。

授業計画

第1回	ガイダンス	第9回	時系列データの季節調整(3)
第2回	経済データのダウンロードとグラフの作成	第10回	回帰分析入門(1)
第3回	度数分布表とヒストグラム(1)	第11回	回帰分析入門(2)
第4回	度数分布表とヒストグラム(2)	第12回	回帰分析入門(3)
第5回	度数分布表とヒストグラム(3)	第13回	回帰分析入門(4)
第6回	度数分布表とヒストグラム(4)	第14回	期末レポートの作成準備
第7回	時系列データの季節調整(1)	第15回	期末レポート提出とコメント
第8回	時系列データの季節調整(2)		

成績評価の方法

出席条件(3分の2以上)を満たしていること
授業中に与えられる課題をすべて提出していること
の2つを満たしている者のみ期末レポートを提出することができます。成績は期末レポートの点数から出席状況、課題提出状況を減点します。詳細は講義用 HP を参照してください。

成績評価の基準

成績評価の項目	具体的な内容与方法	評価割合(%)
定期試験(期末試験)	実施しません。	
授業内のレポート	実習の際に出す課題を提出してもらいます。(5回程度) 提出期限に遅れたものは、その程度に応じて減点します。	減点対象
授業外レポート・宿題	初歩的な実証分析の期末レポートを作成します。	100
出席	欠席1回につき5点減点、遅刻はその程度に応じて減点(最大5点)します。5回以上欠席した者には単位を与えません。	減点対象
合計		

教科書	配布プリントを使用します。
参考書・指定図書等	白砂 堤津耶『[例題で学ぶ] 初歩からの計量経済学』[第2版] 日本評論社 2940円 縄田 和満『Excel による統計入門』[第2版] 朝倉書店 2940円
メッセージ	より詳しい情報は講義用 HP(http://www2.tokuyama-u.ac.jp/kawada)に掲載しますので、そちらも参照してください。